

地域に貢献するスポーツクラブ

沿革

私たちの住んでいる『佐礼谷』は伝統的にバレーボールが盛んな地域で、戦後間もない頃から中学校ではバレーボール部が活躍していたということもあり、地域の方の協力や顧問の先生方の指導も大変熱心で、愛媛県の大会でも上位の成績を取めることも多々ありました。

しかし、そのような伝統も過疎化による生徒数の減少により、生徒全員がバレーボール部員という時代を経て1997年に佐礼谷中学校は廃校、中山中学校へ統合され、佐礼谷から一つの光が消えつつありました。

その後、廃校となった当時のメンバーが社会人となり2005年伊予市合併記念で開催されたバレーボール大会への参加をきっかけに「再度、佐礼谷の光を取り戻そう！」と結集したのが、私たちSVC（佐礼谷バレーボールクラブ）の始まりです。



大会の様子

目的を持った活動を展開中

SVCの活動の目的は、『バレーボール活動を通じ、部会員の相互の連携、健康増進、地域内外との交流を図り、将来に向け、住んで楽しい自慢のまちづくり活動を推進する』ことです。この目的を達成するために、『バレーボール活動』を中心に『イベント参加活動』『ジュニア教育活動』の3つを柱として、単純にスポーツを楽しむ

むことから一歩踏み出した活動を展開しています。まずはバレーボールを通じてチーム全員が心身を鍛えています。メンバーは初心者から経験者、年齢も20歳代から40歳代と様々ですが、年に4回ある伊予市内の大会で上位入賞を目指し練習に励んでいます。また、伊予市ではビーチバレーボールも盛んですので、最近はそのちらの方へも積極的に参

加しています。試合後の慰労会では、ただ飲んで騒ぐだけではなく、世代間を超えて、真剣に将来の構想や夢を語り合ったりする場になっています。

イベント参加活動では、クラブの運営資金を捻出するにあたり、地元の猟友会の方より頂いた『猪肉』を使った『カレーパン』の販売を試みましたが、地元で猪肉料理の第一人者と呼ばれる方より

教えて頂いた方法をベースにして調理しています。おかげで、一度食してもらおうと自然とリピーターができていくという嬉しい状況が続いており、現在は各種イベント時にお店させて頂いています。調理や準備に手間暇がかかるため長時間の作業になります。そこでもチーム内の親睦が生



大人気！しし肉入りカレーパン!!!

人者と呼ばれる方より教えて頂いた方法をベースにして調理しています。おかげで、一度食してもらおうと自然とリピーターができていくという嬉しい状況が続いており、現在は各種イベント時にお店させて頂いています。調理や準備に手間暇がかかるため長時間の作業になります。そこでもチーム内の親睦が生



伊予市中山町
SVC
(佐礼谷バレーボールクラブ)
代表

宮本 弘也



怪しくも人を和ませるダンス！

まれコミュニケーションの輪が広がっています。

また、地元の文化祭などにて『裸一貫に赤いパンツ一枚』で妙な振付けのダンスを披露し、元氣な団体であることをPRしています。最近では老人福祉施設からも声がかかるようになり、お年寄りを元気にさせることに一役買っています(笑)

そして、自分たちが経験してきたことを次世代にも伝えようと、2011年より小学生を対象に『ボール教室』を開講しました。過疎化に伴い、中学校が廃校になってしまったことで、地元で親しまれてきたスポーツをする人が減少してしまうことは非常に思いがあり、この佐礼谷の地で子どもたちがバレーボールのできる環境を復活させることを試みました。現在では『佐礼谷スポーツ少年団』として、中山町内全域より多くの子どもたちが参加して活動しています。体力の向上や団結力に加え、この地域で頑張ったという想いも残していけたらと思います。

現在、そして未来へ

現在、スポーツ少年団への活動支援とし

て、イベント活動での利益を寄付し、ボールやユニフォーム等の購入資金に役立ててもらっています。そして昨年よりカレーパ

ンの具材も自分たちで栽培してみようと、以前より地元の方よりお借りしていた遊休農地にて、無農薬での野菜栽培に挑戦しています。佐礼谷という地域は、標高が300m以上に位置しており、土地柄も良く、美味しい野菜や果樹類が育ちやすい環境にあります。残念ながらチームのメンバーは農業従事者がおりませんので、地元の方に協力してもらいながら、よりおいしいカレーパンの具材作りを目指しています。毎年秋になると地元の子どもたちを畑に招いて、サツマイモ掘り大会を開催し収穫を祝っています。ここでのいろいろな野菜作りをきっかけに、新たな特産品開発にもチャレンジしていこうと思っています。この活動を推進していくことが、地域活性や地元のPRに少しでも役に立てていければ幸いです。

振り返ってみますと、活動内容もどんどん膨らんできましたが、クラブとしては今



芋掘り大会



無農薬農場 SVG
(佐礼谷ベジタブルガーデン)

後『存続し続けること』を第一と考えています。そのために『できることをできる人がやり』『無理をしない、させないこと』そして何より『やっついていて楽しい』と思える活動を推進できる団体になることが理想です。また、将来子どもたちが、この地域に残ろうと思つたときに『ここにいてもいいんだ』と思えるように、そつと手を差し伸べられる、そういう団体でありたいと思います。

SVGはクラブとしての設立より7年が経過しましたが、まだまだ考え方の甘い部分もあり、自分たちの力だけではできないこともたくさんあります。地元の方には『お前達に何ができる?』と問われることもありましたが、目標に向かって自分たちが活動していることを誇りに思い、そしてここ佐礼谷地域で頑張つてこられた諸先輩方の思いや教訓を継続させ、良い意味で周りを巻き込

みます。みなから日々精進し活動していこうと思